

自主・創造～豊かな心と自立する力の育成

大山田中通信

伊賀市立大山田中学校



2025年9月5日

全国学力・学習状況調査の結果・分析について(3年)

4月17日(木)に実施されました「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。この調査は子どもたちの学力の状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。この調査結果をきっちりと分析し、保護者や地域のみなさまにも情報共有をさせていただき、今後の取組をさらに充実させていきたいと思いますので、ご協力をよろしくお願ひいたします。

生徒質問紙

全国平均と比較しての強みと弱み。

<課題だと思われる項目（弱み）>

(割合の低い項目)

- ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した。
- ・学習した内容について、分かった点や分からなかかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- ・国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考える。
- ・理科の授業では、自分の予想(仮説)をもとに観察や実験の計画を立てている。

<割合の高かった項目（強み）>

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・学校に行くのが楽しいと思う。
- ・読書は好きです。
- ・これまでの生活の中で、自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありました。
- ・PCやタブレットを使って、プレゼンテーションを作成することができる。
- ・先生は、授業やテストで間違えたところや理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。
- 国語の授業で学習したことは、社会に出たときに役に立つ。
- ・理科では、観察や実験をよく行っている。

調査結果

	全国の平均正答率と比較して
数学	上回っている
国語	やや下回っている
理科	下回っている



数学

(強み)

- ・多角形の外角の意味をよく理解している。
- ・目的に応じて式を変更したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。
- ・証明を振り返り証明された事柄を基にして、新たに分かれる辺や角についての関係を見いだすことができる。

(弱み)

- ・素数の意味を理解している。
- ・事柄が常に成り立つとは限らない場面において、反例をあげることができる。

(今後は)

- ・1・2年生で習った数学用語や既習事項の復習をしながら授業を進めていきます。
- ・基本的な内容の定着を図るとともに、発展的な問題も取り入れ、具体的な数値や事柄を予想する力につけていきます。

国語

(強み)

- ・目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができます。
- ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができる。
- ・読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整えることができる。

(弱み)

- ・資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。
- ・読み手の立場に立って、語句の用法、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることができる。

(今後は)

- ・タブレットなどを活用して、自分の考えが伝わりやすくなるような資料を使って発表する機会を増やします。
- ・自分の書いた文章を校正して整えることを授業で取り入れていきます。

理科

(強み)

- ・回路の電流・電圧と抵抗や熱量に関する知識及び技能が身についている。
- ・火災における適切な避難行動を問うことで、気体の性質に関する知識が概念として身についている。
- ・スケッチから分かれる植物の特徴を基に、植物の葉・茎・根のつくりに関する知識及び技能を活用して、植物の茎の横断面や根の構造について適切に表現できる。

(弱み)

- ・路頭のどの位置から水が染み出るか観察する場面において、小学校で学習した知識を基に地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈できる。
- ・水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身についている。
- ・大地の変化について、時間的・空間的な見方を働かせて、土地の様子とボーリング調査の結果を関連付けて地層の広がりを検討して表現できる。

(今後は)

- ・自分の言葉で説明する機会、文章で答える問題の充実をはかります。
- ・電気分野の内容を復習する機会を授業に取り入れます。
- ・類似問題を繰り返し行うことで基礎基本の定着を図ります。